



平成15年
2003
7.1

『万が一の災害に備え
保存しておいて下さい』

保存版



編集・発行 / 宇治市企画管理部 防災対策課 ☎(0774) 39-9421

宇治川洪水ハザードマップ

宇治川洪水ハザードマップの作成について

本市では、昭和28年に宇治川の破堤により大洪水が発生いたしました。それ以降、宇治川の破堤による洪水は発生しておりません。また、昭和39年に天ヶ瀬ダムが完成してからは宇治川の治水は飛躍的に改善されました。

しかし、近年の都市化の進展によるヒートアイランド現象や温暖化などにより、未曾有の豪雨がしばしば発生し、各地で大洪水が発生してきています。

市では、こうした洪水による被害を軽減することを目的に、国土交通省近畿地方整備局が昨年6月に作成公表しました「淀川水系 淀川、宇治川、木津川、桂川浸水想定区域図」に基づいて洪水ハザードマップを作成しました。

日頃、安心して見ている宇治川も、このような豪雨が万が一流域を襲った場合は、氾濫をし、図のように大洪水が発生することも考えられます。

また、宇治川が氾濫しない場合でも、過去の記録のようにいつ災害が発生するかわかりません。

このため、市民の皆さんは、大雨が降っている場合は、テレビやラジオの情報、また、市や消防署からの広報などに気をつけていただき、いつでも迅速に避難できる体制を日頃から考えておいてください。

災害は忘れた頃にやってくると言われています。浸水想定区域にお住まいの皆さんはもとより、そうでない地域にお住まいの皆さんも、このマップを参考に、避難場所を確認するなど万一の災害に日頃から備えましょう。

(浸水予想)



西宇治体育館付近

(浸水予想)



木幡北島付近

S34.8.14 六地藏地域の浸水被害



警察の
救助活動



自衛隊の
救助活動



国鉄高架上に
避難した人達

宇治市

宇治市における最近50年間の主な水害

(人的被害、100戸以上の家屋被害のあったもの)

| 年月日 | 水害の原因及び気象概況 | 被害状況・場所 |
|-----------------|---|--|
| S28.8.15 | 集中豪雨(南山城水害) | 隠元橋(木造)の流出 名木川堤防300mにわたり決壊 |
| S28.9.25 | 台風13号 「テス台風」 総雨量214mm 風速16m/s | 天ヶ瀬橋、喜撰橋、橘橋の流出 宇治川両岸で溢水 浸水日数 25日 行方不明 1名 家屋浸水1035戸 全壊89戸 |
| S34.8.13 ~14 | 台風7号 | 六地藏・木幡地区に浸水被害 家屋床上浸水400戸 |
| S36.9.16 | 「第2室戸台風」 風速40m/s | 負傷者 69名 市内全域 家屋全壊156戸 半壊・一部損壊5000戸以上 避難者 延べ6日間で4915人 |
| S36.10.28 | 集中豪雨 | 負傷者 1名 六地藏・木幡地域 家屋浸水316戸 半壊28戸以上 |
| S40.9.17 | 台風24号 | 六地藏・木幡地区に避難勧告発令 家屋浸水 床上307戸 床下102戸 |
| S45.9.18 ~19 | 秋雨前線による集中豪雨 総雨量 169.8mm 時間雨量 64mm | 家屋浸水被害 475戸 宇治・小倉地域 |
| S47.7.10 ~15 | 梅雨前線停滞による豪雨 総雨量 215.5mm | 家屋浸水被害 178戸 宇治・小倉地域 |
| S47.9.16 | 台風20号 | 家屋浸水被害 654戸 宇治・小倉地域 |
| S51.7.27 | 集中豪雨 時間雨量 62mm | 家屋浸水被害 589戸 宇治・小倉地域 |
| S61.7.21 ~22 | 梅雨前線による集中豪雨 総雨量 321.0mm 時間雨量 64.0mm | 家屋浸水被害 639戸 宇治・小倉地域 |
| H18.22 | 局地的集中豪雨 20分雨量 50.0mm | 家屋浸水被害 402戸 宇治・小倉地域 |
| H19.6 | 集中豪雨 時間雨量 53.5mm | 家屋浸水被害 307戸 宇治・小倉地域 |

情報伝達の方法

- ・ テレビ
- ・ ラジオ (FMうじ放送88.8MHz)
- ・ 広報車、消防車
- ・ 町内会・自治会

市役所
TEL 22-3141

避難勧告・指示

市民のみなさん

問合せや地域の情報

避難勧告や避難の指示は、上図のような方法で住民の皆さんに伝達されます。水害のときはデマなどに惑わされず、正しい情報にもとづき、消防や警察官、市職員の誘導で、できるだけ隣近所がまとまって行動しましょう。



台風や豪雨は予測しやすいから恐くないと錯覚して、日頃の対策や心構えができていないとしたら大間違い。事前に予測できるとはいえ、大雨や強風の威力は計りられません。決して油断することなく、日頃から十分な対策を立てておきましょう。

凡 例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

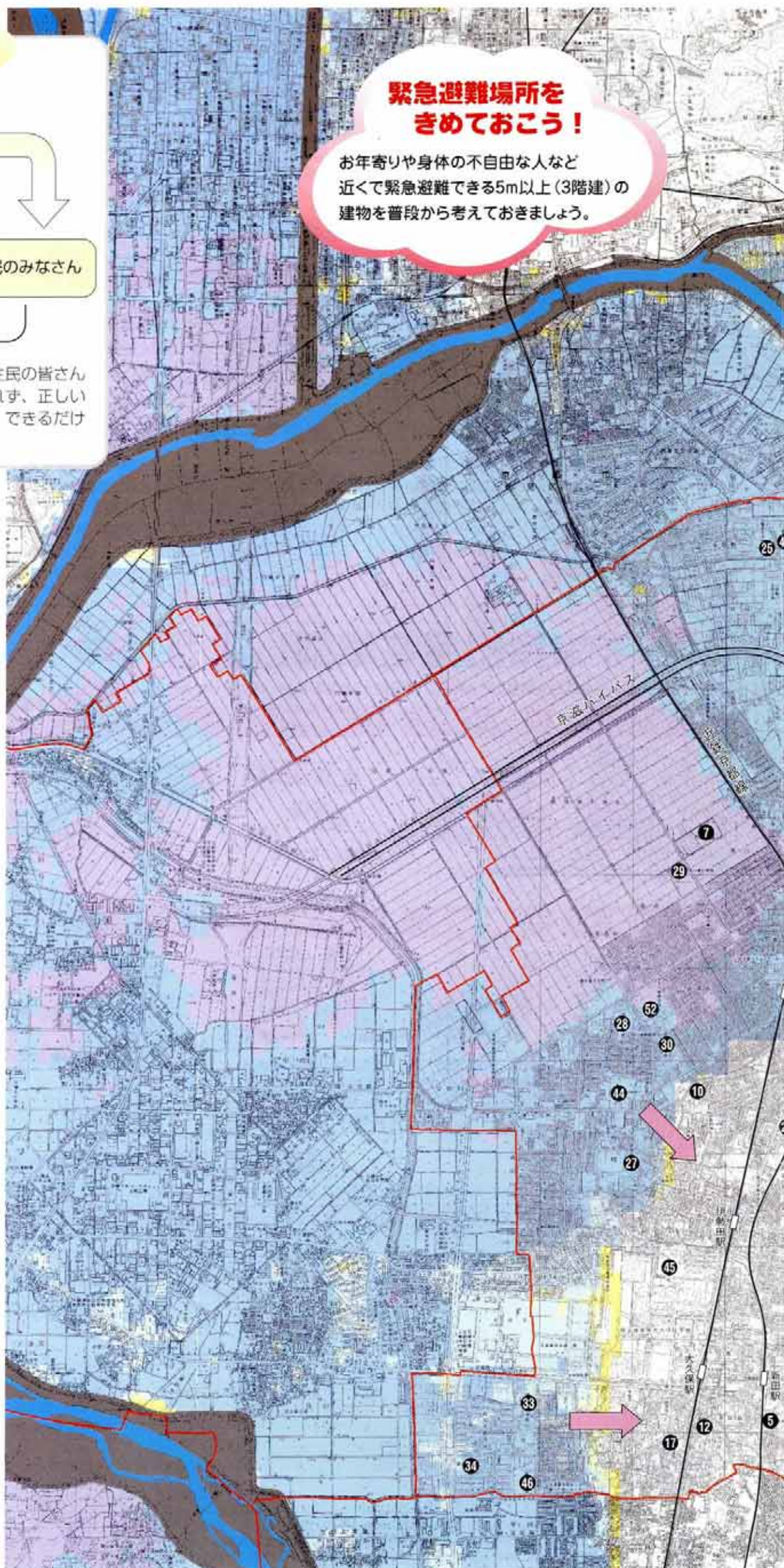
- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

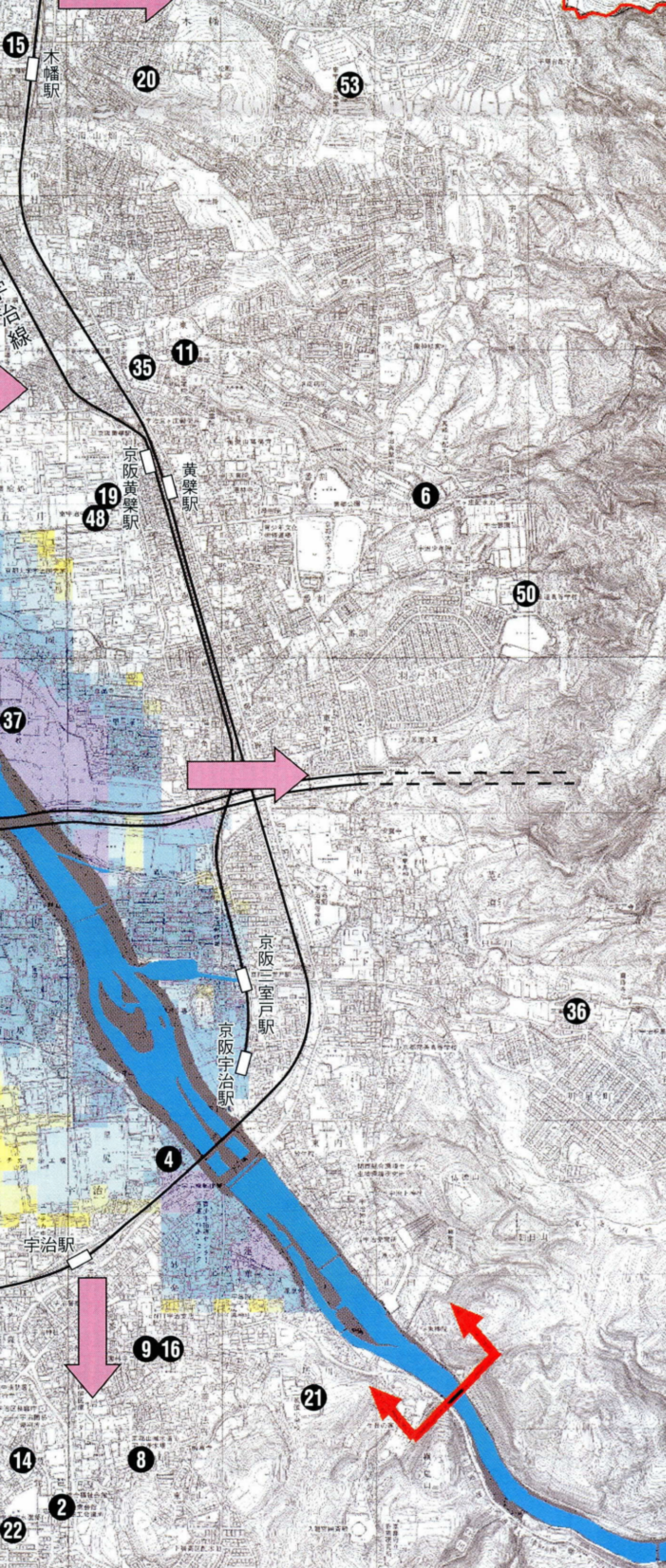
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
- 避難方向

500m 0 500 1000 1500

緊急避難場所をきめておこう!

お年寄りや身体の不自由な人など近くで緊急避難できる5m以上(3階建)の建物を普段から考えておきましょう。





| | |
|----|-----------|
| 14 | 宇治保育所 |
| 15 | 木幡保育所 |
| 16 | 善法保育所 |
| 17 | 大久保幼稚園 |
| 18 | 神明幼稚園 |
| 19 | 東宇治幼稚園 |
| 20 | 木幡幼稚園 |
| 21 | 菟道小学校 |
| 22 | 菟道第二小学校 |
| 23 | 神明小学校 |
| 24 | 槇島小学校 |
| 25 | 北槇島小学校 |
| 26 | 小倉小学校 |
| 27 | 伊勢田小学校 |
| 28 | 西小倉小学校 |
| 29 | 北小倉小学校 |
| 30 | 南小倉小学校 |
| 31 | 大久保小学校 |
| 32 | 大開小学校 |
| 33 | 西大久保小学校 |
| 34 | 平盛小学校 |
| 35 | 宇治小学校 |
| 36 | 三室戸小学校 |
| 37 | 南部小学校 |
| 38 | 岡屋小学校 |
| 39 | 木幡小学校 |
| 40 | 御蔵山小学校 |
| 41 | 宇治中学校 |
| 42 | 北宇治中学校 |
| 43 | 槇島中学校 |
| 44 | 西小倉中学校 |
| 45 | 西宇治中学校 |
| 46 | 南宇治中学校 |
| 47 | 広野中学校 |
| 48 | 東宇治中学校 |
| 49 | 木幡中学校 |
| 50 | 菟道高等学校 |
| 51 | 城南高等学校 |
| 52 | 西宇治高等学校 |
| 53 | 東宇治高等学校 |
| 54 | 立命館宇治高等学校 |

※のある施設は浸水区域にあり、最上階に避難してください。

緊急通

| | | |
|-----------|-----------------|---|
| 火災・救助・救急車 | 局番なし 119 | 宇 |
| 警察への急報 | 局番なし 110 | 宇 |

洪水のときは こうして避難しよう

歩ける深さ



歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰までであるようなら無理は禁物。高所で救援を待とう。

はき物



裸足・長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴がよい。

足元に注意



水面下にはどんな危険が潜んでいるのかわからない。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩くこと。

ロープでつながって



はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しよう。とくに子供から目を離さないように。

子供やお年寄りを安全に



お年寄りや身体の不自由な人などは背負う。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保する。

集中豪雨に 備えよう



大雨情報をキャッチしたら
わが家でこんな安全対策を！

非常持出品を準備しよう

万一のときにすばやく避難できるように、日頃から非常持出品の準備をしておきましょう。

貴重品



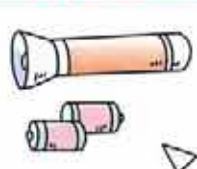
現金、権利証書、預金通帳、免許証、保険証など

携帯ラジオ



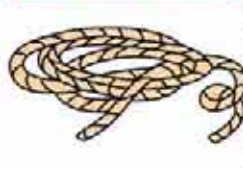
FMつきのもの
予備電池は多めにストックしておく

懐中電灯



予備電池も忘れずに

ロープ



ロープなど

衣類



下着、上着、タオル、紙おむつなど

応急医薬品



絆創膏、傷薬、包帯、抗生物質、病人やお年寄りの常備薬を忘れずに

非常食品



かんパン、缶詰など火を過さないでも食べられる物。ミネラルウォーター、水筒など

雨具



雨具、カッパなど

●ラジオやテレビなどの気象情報にはくれぐれも注意を。

●外出からは早く帰宅し、勤務先のご主人などと連絡をとり、非常時に備える。

●浸水に備えて家財道具は安全な場所へ。

●市役所や消防関係の広報をよく聞いておく。

●停電に備えて懐中電灯やトランジスタラジオの用意を。

●非常持出品を準備しておく。

●飲料水や食料を数日分確保しておく。

●危険な土地ではいつでも避難できる準備態勢を。



雨の強さと降り方 (気象庁資料より)

雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意し、警報や避難勧告が出る前でも、危険と判断すれば、避難などの準備をしたり事前に避難することも大切です。

| 1時間雨量 | 予報用語 | 降り方のイメージ | 人への影響 | 木造建物内 | 屋外の様子 | 車に乗っていて | 災害発生状況 |
|------------------|---------|---------------------------|------------------|--------------------|---------------------------|---|--|
| 10mm以上 20mm未満 | やや強い雨 | ザーザーと降る | 地面からの跳ね返りで足元が濡れる | 雨の音で話し声がよく聞き取れない | 地面一面に水溜りが出来る | | この程度の雨でも長く続く時は注意が必要 |
| 20mm以上 30mm未満 | 強い雨 | 土砂降り | 傘をさしていても濡れる | 寝ている人の半数くらいが雨に気が付く | | ワイパーを速くしても見づらい | 側溝や下水、小さな川が溢れ、小規模の崖崩れが始まる |
| 30mm以上 50mm未満 | 激しい雨 | バケツをひっくり返したように降る | | | 道路が川のようになる | 高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキが利かなくなる ハイドロプレーニング現象 | 山崩れ、崖崩れがおきやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水が溢れる |
| 50mm以上 80mm未満 | 非常に激しい雨 | 滝のように降る ゴーゴーと降り続く | 傘は全く役に立たなくなる | | 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる | 車の運転は危険 | 都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい |
| 80mm以上 | 猛烈な雨 | 息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる | | | | | 多くの災害が発生する雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要 |

表はこの強さの雨が1時間降り続いたと仮定した場合の目安を示しています。

表は示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子が異なることがあります。

この表である雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害に止まる場合もあります。